



国際会議 海外派遣・留学 主要外国人の来訪 国際協力協定 余剰兵器解体プルトニウム処分協力

1. 国際会議

1.1 国内

期 間	開 催 場 所	会 議 名 及 び 内 容
2002年 4月10日～4月11日	敦 賀	「OECD/NEA原子力施設デコミッションプロジェクトに関する科学技術情報交換協力計画(OECDハルデンプロジェクト)に基づく仮想現実を利用した解体シミュレーションシステム技術会議」 2002年度のプロジェクト遂行にかかわる技術的事項につき意見交換及び打合せを行った。
4月23日～4月24日	東 海	「JNC/FZK(独国カールスルーエ研究所)高レベル廃棄物分野における協力協定に基づく高レベル廃棄物管理会議」 ガラス固化技術と白金族元素問題について意見交換を行った。
4月23日～4月25日	東 海	「JNC/Nagra(スイス放射性廃棄物処分共同組合)放射性廃棄物管理協定に基づくグリムゼル原位置試験における核種以降へのセメント影響原位置試験プロジェクト専門家会議」 原位置試験, モデル, データベースの妥当性評価の確認を行った。
4月25日～4月26日	敦 賀	「第3回敦賀国際エネルギーフォーラム」 「もんじゅの国際的役割と地域との連携」をテーマに, 原子力エネルギーの意義や「もんじゅ」が果たすべき役割について, 各国から招聘したパネリストによる講演やパネル討論を行った。
4月26日～4月27日	東 濃	「JNC/Nagra放射性廃棄物管理協定に基づく超深地層研究所計画に関する技術的支援に関する技術検討会議」 全体計画及び個別調査計画に関する打合せを行った。
5月14日～5月17日	敦 賀	「JNC/CEA(仏国原子力庁)先進技術協定に基づくもんじゅ/スーパーフェニックス技術情報交換会議」 プラントの安全性と信頼性の向上を目的とした情報交換及び課題の検討を行った。
5月29日～5月31日	東 海 濃 延	「JNC/LBNL(ローレンスバークレー国立研究所)水理・物理移動:サイト特性調査及び予測技術に関する共同研究協議」 ユッカマウンテン計画の現状につき情報収集を行うとともに, 共同研究の進捗につき協議した。

1.2 国外

期 間	開 催 場 所	会 議 名 及 び 内 容
2002年 5月27日～5月31日	露 国 デミトロフグラード	「原子炉研究所(RIAR)とのODSフェライト鋼燃料ピンBOR 60照射試験に関する共同研究技術会議」 RIARにおける溶接試験の状況と安全性の確認を行うとともに, 燃料ピン製造と照射試験に係るスケジュール等について協議, 調整を行った。
5月27日～5月31日	露 国 オブニスク	「物理エネルギー研究所(IPPE)との振動充てんMOX燃料を装荷したBN600ハイブリッド炉心の安全解析に関わる共同研究調整会議」 報告書のレビュー確認及び報告書の完成に向けて討議を行った。
6月3日～6月6日	米 国 アイダホアルゴンヌ研究所	「WANO第5回FBRグループ会議」 WANO FBRグループ会議に出席し各発電所の代表との情報交換を行うとともに, アルゴンヌ研究所と今後の「もんじゅ」にかかわる協力, 共同研究について打合せた。
6月10日～6月11日	英 国 マンチェスター	「JNC/BNFL(英国原子燃料会社)先進技術協定に基づく湿式分離技術に関する情報交換会合」 PUREX方に係る分離技術につき情報及び意見交換を行った。
6月13日～6月14日	仏 国 アビニョン	「JNC/CEA先進技術協定に基づく分離技術に関する情報交換会議」 マイナーアクチドを対象とした分離技術につき情報及び意見交換を行った。

2. 海外派遣・留学

派遣・留学先	期 間	人数	目 的
スイス ポール・シェラー研究所 (PSI)	2002年4月1日～ 2003年9月28日	1	振動充てん燃料開発プログラムに関するPSI/JNC共同研究
スーパー・フェニックス (SPX)	2002年6月20日～ 2004年6月19日	1	JNC/EDF (フランス電力公社) 高速炉の運転・保守・情報交換協定に基づく高速炉プラント運転, 保守経験に関する調査研究

3. 主要外国人の来訪

訪 問 日	訪問場所	訪 問 者
2002年 4月25日	東 京	経済協力開発機構原子機構 (OECD/NEA) Dujardin 次長
4月25日	東 京	BNFL Ion 技術運転部長
4月24日～25日	東 海 東 濃	台湾工業技術研究院 Chen 副所長
4月24日～27日	敦 賀	・米国アルゴン国立研究所 Walters 主席技術顧問 ・国際原子力機関 (IAEA) Juhn 原子力部長 ・露国物理・動力工学研究所 Poplavskiy 副所長 ・中国原子能科学研究院 Zhao 院長
5月8日～9日	東 海	・露国フロービン・ラジウム研究所 Bartenev 部門長 ・露国PAマヤック Rovny 中央研究所長

4. 国際協力協定 なし

5. 余剰兵器解体プルトニウム (解体プル) 処分 協力

(1) 解体プルのBN600における処分法検討のためのBFS 2施設を用いた実験的研究に関する共同研究

ロシア物理エネルギー研究所 (IPPE) との共同研究契約に基づき, BFS 2 (臨界実験装置) を用いた臨界実験及び臨界実験結果の解析評価を行っている。

(2) 解体プル処分のためのBN600用MOXパイバック燃料集合体3体の製造及び照射実証試験に関する共同研究

ロシア原子炉科学研究所 (RIAR) との共同研究契約に基づき, 解体プルを用いた3体の試験燃料集合体の照射試験が終了し, 現在, 冷却のため炉内貯蔵ラックで保管されている。2003年2月に照射後試験を開始する予定である。

(3) MOXパイバック燃料を用いたBN600フル

MOX炉心化に係る詳細作業計画と主な実施コストの評価に関する共同研究

IPPE との共同研究契約に基づき, フルMOX炉心用の燃料製造施設建設コスト評価を中心とした調査を行っている。

(4) MOXパイバック燃料を装荷したBN600ハイブリッド炉心及び燃料の設計に関する共同研究

ロシア実験機械製造設計局 (OKBM) との共同研究契約に基づき, BN600ハイブリッド炉心化のための炉心及び燃料設計を行っている。

(5) MOXパイバック燃料を装荷したBN600ハイブリッド炉心の安全解析に関する共同研究

IPPE との共同研究契約に基づき, BN600ハイブリッド炉心化に際してその安全性について, 評価及び解析を行っている。

(6) 解体プルを用いたMOXパイバック燃料製造に関する共同研究

RIAR との共同研究契約に基づき, BN600ハイブリッド炉心へ燃料供給する設備の改造等を行っている。

(本社: 国際・核物質管理部)